

コミュニティ・スクール絹

小山市立絹義務教育学校 地域連携部 第39号 (令和3年12月発行)

資源物回収 へのご協力ありがとうございました。

12/4(土)も、たくさんのアルミ缶、ダンボール、雑誌、新聞紙が
集まりました。
地区理事の方々には、特に大変
お世話になりました。



運ばれてきた資源物
は、PTA本部役員・
教職員等で、坪野谷
商事が西に車した
トラックに積み分け
ました。

終了後、土砂さらいも行われました。

校内の側溝は、毎年の「PTA奉仕作業」により、少しずつ清掃してきましたが、
コロナ禍で例年通りの活動ができず、校庭の水はけが心配されました。そこで、土砂の
たまった側溝のみを清掃することにしました。

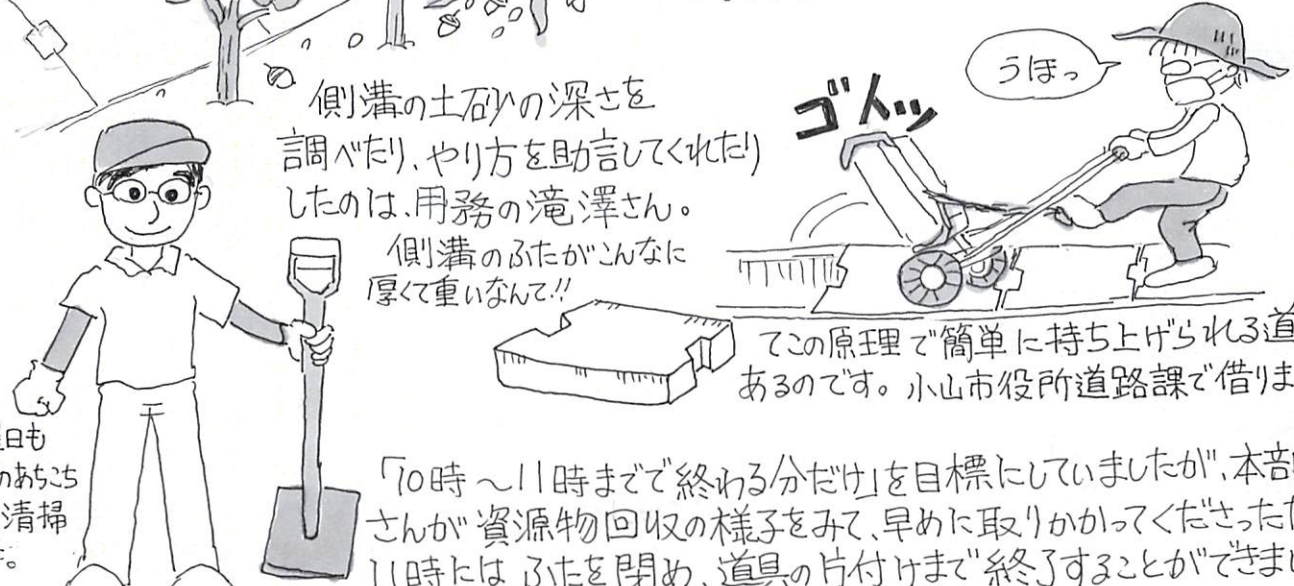
調べたところ、西校庭東側フェンス
沿いの、ふた49枚分が
要清掃状態でした。



でも、せまくて
作業しにくい場所
土砂は、いなか
にたまっています。

落合PTA会長のリーダーシップのもとで、計画が
練られ、多くの保護者の方々が参加してくだ
さいました。

側溝の土砂の深さを
調べたり、やり方を助言してくれたり
したのは、用務の滝澤さん。
側溝のふたがこんなに
厚くて重いなんて!!



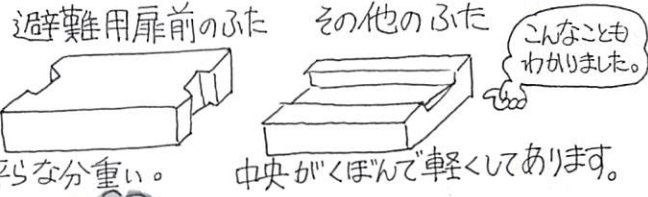
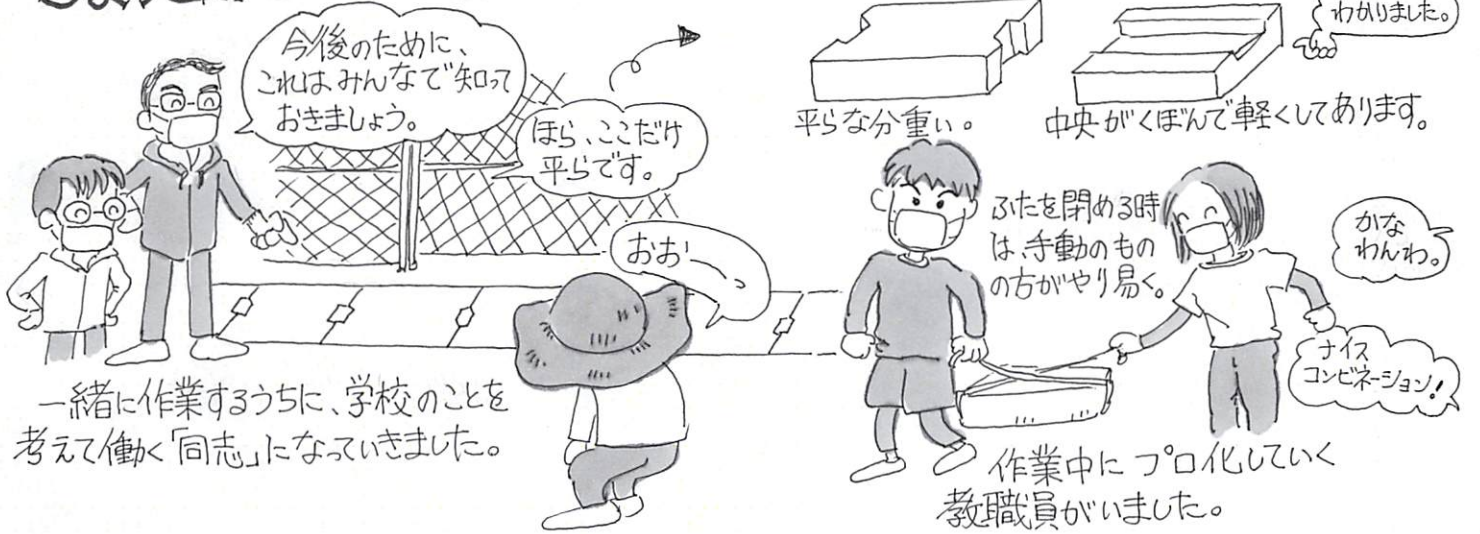
「ゴトッ」
うほっ

てこの原理で簡単に持ち上げられる道具が
あります。小山市役所道路課で借りました。

月曜日も
側溝のおちこ
をへて清掃
しました。

「10時～11時までで終わる分だけ」を目標にしていたが、本部役員
さんが資源物回収の様子をみて、早めに取りかかってくれたため、
11時にはふたを閉め、道具の片付けまで終了することができました。

ちょっと細かい情報



一緒に作業するうちに、学校のことを考えて働く「同志」になってきました。

学校運営協議会では、生徒の見守りについて話し合いました。



委員長の上野さん

絹義務教育学校のために真剣に話し合う委員の方々の姿を見て、改めて、ここがよい学校である理由がわかりました。

絹義務教育学校開校5年

1年生から9年生までが同じ学校に通ってくるのは、小山市内で本校だけです。栃木県内でも3校だけです。



学年が上がるごとに、できることが一つ増え、体も大きくなります。それを9年分見渡せる、それが義務教育学校です。

絹義務教育学校で学べたことが、子どもたちの大きな誇りになりますように。職員一同、精いっぱい、努めていきたいと思っております。

小山市立絹義務教育学校
 〒323-0155 小山市福良2240-1
 電話 0285(49)0141
 ファックス 0285(49)2764
 E-メール kinugimu@oyama-tcg.ed.jp
 前期課程教頭 海老沼真弓